

数量総括表

項 目		仕様・寸法	単位	数 量	備 考
床版・縦桁撤去設置工	床版・縦桁撤去工		式	1	
	床版設置工	人工木材（再利用）	m ²	61.770	
	縦桁設置工	アルミ製角鋼管（再利用）	m	170.400	
塗装塗替え工	塗装仕様（Rc-I 塗装系）				
	素地調整	1種ケレン相当	m ²	167.246	
	防食下地	有機ジンクリッチペイント	m ²	167.246	
	下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料	m ²	167.246	
	下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料	m ²	167.246	
	中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料	m ²	167.246	
	上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料	m ²	167.246	
	塗膜くず（集積・積込）		m ²	167.246	
	小型容器		式	1	
仮設工	吊り足場工	シート張り防護工 （軽量足場）	m ²	49.000	1工区
			m ²	54.985	2工区
			m ²	49.000	3工区
			計	m ²	152.985
	手摺先行枠組足場	主塔用	掛m ²	97.900	
交通管理工	交通誘導員A	人	33		
有害物工質	有害物質対策資機材	環境対策資機材	式	1	クリーンルーム、集塵機等
		安全衛生保護具	式	1	マスク、防護服等

床版・縦桁撤去設置工

1. 床版撤去設置工

1) 床版撤去設置工 (人工木材) ※設置間隔5mm含む

$$150 \text{ mm} \times 1450 \text{ mm} \quad t = 30 \text{ mm}$$

$$N = 284 \qquad \qquad \qquad = \qquad \qquad \qquad 284 \text{ 枚}$$

$$A = 0.150 \times 1.450 \times 284 \qquad \qquad \qquad = \qquad 61.770 \text{ m}^2$$

$$\text{計} = \underline{\underline{61.770}} \text{ m}^2$$

2. 縦桁撤去設置工

1) 縦桁撤去設置工 (アルミ製角鋼管)

$$L = 42.600 \times 4$$

$$= \underline{\underline{170.400}} \text{ m}$$

塗装塗替え工

※ 詳細は、図面参照のこと。

塗装仕様 (Rc- I 塗装系)

1. 塗装面積

・ 塔柱

(単位 : mm, m²)

員数	部材名	材種	断面	長さ	総面積	接合面積	表面積	備考
2	支柱	○	φ200(外径φ216.3)	4600	6.252		6.252	主部材
2	斜材	L	90×90×10	1800	1.296	0.057	1.239	主部材
1	水平材	L	90×90×10	1500	0.540	0.038	0.502	主部材
2	プレート	PL	245 × 9	230	0.193		0.193	副部材
2	プレート	PL	215 × 9	140	0.102		0.102	副部材
2	サドル	PL	170 × 9	200	0.146		0.146	副部材
2	支承	PL	360 × 10	360	0.533		0.533	副部材
1塔柱当り表面積 :							7.993	主部材
							0.974	副部材
塔柱表面積合計(2塔柱) :							15.986	主部材
							1.948	副部材

・ 主桁

(単位 : mm, m²)

員数	部材名	材種	断面	長さ	総面積	接合面積	表面積	備考
1	上弦材	L	75×75×6.2	44438	13.332	0.630	12.702	主部材
1	中弦材	L	50×50×5.5	42000	8.400	0.194	8.206	主部材
1	下弦材	L	50×50×5.5	42000	8.400	0.165	8.235	主部材
20	垂直材	L	65×65×6.2	1405	7.306	0.188	7.118	主部材
42	斜材	L	50×50×5.5	1620	13.608	0.298	13.310	主部材
21	プレート	PL	260 × 9	210	2.293		2.293	副部材
20	プレート	PL	200 × 9	200	1.208		1.208	副部材
主桁片側当り表面積 :							49.571	主部材
							3.501	副部材
主桁工表面積合計(2主桁工) :							99.142	主部材
							7.002	副部材

・ 桁下斜構

(単位 : mm, m²)

員数	部材名	材種	断面	長さ	総面積	接合面積	表面積	備考
21	下横構	L	50×50×5.5	2234	9.383	0.269	9.114	主部材
2	プレート	PL	185 × 9	153	0.130	0.028	0.102	副部材
20	プレート	PL	185 × 9	270	1.648	0.186	1.462	副部材
桁下斜構表面積合計 :							9.114	主部材
							1.564	副部材

・ 端部横桁 (単位 : mm, m²)

員数	部材名	材種	断面	長さ	総面積	接合面積	表面積	備考
1	横桁	L	75×75×6.2	1900	0.570	0.022	0.548	主部材
1	横構	L	75×75×6.2	1650	0.495	0.015	0.480	主部材
4	添構	L	75×75×6.2	(推)300	0.360	0.113	0.247	主部材
1	垂直材	L	50×50×5.5	480	0.096		0.096	主部材
2	対傾構	L	50×50×5.5	595	0.238		0.238	主部材
1端部横桁当り表面積 :							1.609	主部材
端部横桁表面積合計(2横桁) :							3.218	主部材

・ 中間横桁 (単位 : mm, m²)

員数	部材名	材種	断面	長さ	総面積	接合面積	表面積	備考
1	横桁	L	75×75×6.2	1900	0.570	0.022	0.548	主部材
1	横構	L	50×50×5.5	1650	0.330	0.007	0.323	主部材
4	添構	L	75×75×6.2	300	0.360	0.113	0.247	主部材
1	垂直材	L	50×50×5.5	480	0.096		0.096	主部材
2	対傾構	L	50×50×5.5	595	0.238		0.238	主部材
1中間横桁当り表面積 :							1.452	主部材
中間横桁表面積合計(20横桁) :							29.040	主部材

・ 支承 (副部材)

$$A = 0.150 \times 0.100 \times 4 \times 2 + 0.150 \times 0.150 \times 2 \times 2 + 0.070 \times 0.080 \times 2 \times 2 = 0.232 \text{ m}^2$$

・ 塗装面積集計表 (1橋当り)

部 材	塗布面積 (m ²)	
	主部材	副部材
塔柱	15.986	1.948
主桁工	99.142	7.002
桁下斜構	9.114	1.564
端部横桁	3.218	
中間横桁	29.040	
定着金具		
支承		0.232
主ケーブル		
小計	156.500	10.746

・ 素地調整・防食下地合計 156.5 + 10.746 = 167.246 m²

・ 下塗・中塗・上塗合計 156.5 + 10.746 - 0 = 167.246 m²

2. 塗装仕様

Rc- I 塗装系 (スプレー)

1種ケレン+弱溶剤形フッ素樹脂塗料

塗装工程	塗 料 名	使用量 (g/m ²)	塗装面積 (m ²)
素地調整	1種 ※3	-	167.246
防蝕下地	有機ジンクリッチペイント	600	167.246
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	167.246
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	167.246
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	170	167.246
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140	167.246

- 注) 1. 塗装作業は、「日本道路協会鋼道路橋防食便覧」に従って行うこと。
※1:原則はスプレー塗装とするが発注者と協議の上で、はけ・ローラーに変更もできる。
※2:現場の施工条件に応じて塗装間隔を別途取り決める場合もある。
※3:プラスト処理による防せい度は ISOsa21/2とする。
2. 施工再度塗装面積の確認を行い、数量を最終決定すること。

3-2-5. 撤去工

1) 塗膜くず

集積・積込

$$A = 156.500$$

$$= \underline{167.246} \text{ m}^2$$

足場工

※ 詳細は、図面参照のこと。

1. 吊り足場工（床面・朝顔ともにシート張防護工設置）

（軽量足場）

1) 吊り足場面積

W(全幅員) L(必要長)

$$A1 = 3.500 \times 14.000 = \underline{49.000} \text{ m}^2$$

$$A2 = 3.500 \times 15.710 = \underline{54.985} \text{ m}^2$$

$$A3 = 3.500 \times 14.000 = \underline{49.000} \text{ m}^2$$

$$\text{計} = \underline{152.985} \text{ m}^2$$

2. 手摺先行枠組足場

（塔柱用）

$$A = (2.060 \times 2 + 3.580 + 1.200) \times 5.5 \times 2 = \underline{97.900} \text{ 掛m}^2$$

3. 剥離用養生シート面積

（吊足場）

$$(2.330 + 2.330 + 3.500) \times (14.000 + 15.710 + 14.000) = \underline{356.674} \text{ m}^2$$